

平成 28 年 9 月吉日

各位

当院主催の講演会のご案内

「摂食嚥下障害リハビリテーション：VF 所見から得られる実践的アプローチ」

医療法人社団 博洋会 藤井脳神経外科病院
リハビリテーション科 言語聴覚士
伊藤 栞

今年度も、昨年度に引き続き摂食嚥下障害分野で著名な倉智雅子先生をお招きし、当院で講演会を開催いたします。倉智雅子先生は、アメリカの摂食嚥下分野で高名な Logemann 先生の下で学ばれ、間接的嚥下訓練の一つとして知られる前舌保持嚥下法(Masako maneuver)を開発された方でもあります。摂食嚥下分野の第一線でご活躍されている先生に、今回の講演会では、VF で観察できる嚥下の解剖生理や病態生理、訓練法の選択など、明日の臨床からすぐに活かせる内容から、日本とアメリカの摂食嚥下障害分野に精通されている先生ならではの知見より、今後の摂食嚥下障害リハビリテーションの展望までをご講演して頂こうと思っています。貴重な機会だと思しますので、皆さま是非ご参加ください。

1. 日程

日 時：平成 28 年 11 月 26 日(土) 13：30～16：00(受付時間 13：00～)

会 場：医療法人社団 博洋会 藤井脳神経外科病院 2F 大研修室

参加費：無料

定 員：100 名

応募資格：言語聴覚士

(理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、コメディカルスタッフを目指す学生の
方も可能です。)

2. 講師紹介

倉智 雅子先生(新潟リハビリテーション大学副学長・教授)

所属学会・協会

日本言語聴覚士協会、日本音声言語医学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、
日本嚥下医学会、国際音声言語医学会、米国言語聴覚士協会、カナダ言語聴覚士協会

主な著書

倉智雅子編著：言語聴覚士のための摂食・嚥下障害.医歯薬出版,2013

倉智雅子訳：道健一,道脇幸博(監訳)：Logemann 摂食・嚥下障害.医歯薬出版.2000.

他多数

3. 講演内容

- ・嚥下機能の解剖と生理
- ・VF 検査の意義と解析のポイントについて
- ・VF 画像を用いた評価(実際の症例の VF 画像を使用し、評価を行います)
- ・VF 画像所見から得られる摂食嚥下障害の病態生理と訓練法の選択
- ・今後の摂食嚥下障害リハビリテーションの展望

4. お申込み

件名に「11月26日講演会申し込み」と記載して頂き、下記事項を記入して e-mail にてお申し込みください。

①氏名②所属③経験年数④職種⑤メールアドレス(携帯でも可。その場合は、ドメイン指定によって、reha@fujii-hospital.jpからのメールを受信可能にしてください。)

※受付完了後に折り返しメールをさせていただきますので、1週間以内に連絡がない場合は、再度下記のメールアドレスにご連絡お願い致します。

5. 締め切り

100名の定員数に達し次第、締め切らせていただきます。

6. お問い合わせ

〒920-0362 石川県金沢市古府1丁目150番地

医療法人社団 博洋会 藤井脳神経外科病院

リハビリテーション科 担当：伊藤 栞

e-mail : reha@fujii-hospital.jp